



# 組 織 だ よ !! り 2009.9.15 NO90

## いのちの活動 出会い ふれあい 支えあてあひ 元気なまちをつくらう

### 第21回組合員活動交流集會に250人がつどう

9月12日(土)第21回組合員活動交流集會を岩出市総合保健福祉センターで開催しました。日頃の活動交流と共に、2009年秋の医療生協強化月間のスタートの場となりました。各地区・支部から組合員、職員250人が参加しました。

第1部は、医療生協通信教育「高齢期のいきいき生活」コースの執筆者のひとり、神戸女子大・近畿大学豊岡短大非常勤講師の阿江善春氏に「老いとこころの健康」をテーマに話していただきました。長年の病院でのケースワーカーの経験をもとに、ストレスと心身の健康問題、こころの健康、「人間として生きる」こと、ありのままの自己を引き受けて生きていく、「私の人生の最終責任者はわたしである」としめくりました。また、講演の中で、「人の話を聴く」ということについての設問を参加者みんなでおこない、楽しく、ためになった講演でした。参加者からは「深い意味のあることが多く、生き方について考えさせられた。生老病死が近づいている今、尚その重さを感じた。」「非常にわかりやすい



深く感銘した阿江先生の学習講演

講演でわれわれも理解できた。私も老いの年齢に近づいているので自分自身に納得するように講演を聞かせていただいた。」などの感想が寄せられました。また、第1部では、田畑専務理事より、09年医療生協強化月間方針についての基調報告があり、月間では「4課題年間目標の8割達成と3つのあいを広げる1万人対話をひろげよう」との提案がされました。その取り組みの中心に新しいパンフをもって地域にでかけること、全支部が協力者増やす取り組みを強める中で、月間目標を達成しましょうと述べました。

第2部は5つに分かれて組合員の交流を行ないました。内容は以下のとおりです。



#### 第1交流会 医療生協ウエルカムパーティ交流会

第1交流会は新加入の組合員さんとのつながりをつくる。あたたかく迎え、医療生協の活動などを紹介、交流をすすめている河西地区の取り組みを学びました。参加された方からは、「せっかく組合員になっていただいた方をそのままにしておくのではなく、医療生協のよさを知っていただくことは大切。」との感想が寄せられました。

#### 第5交流会 仲間ふやし・担い手ふやし交流会



第5交流会は仲間ふやしについて、それぞれ参加者から発言がありました。サークル活動や楽しいイベントにさそって組合員になってもらった経験や職員と組合員との地域訪問など協同の取り組みも大切。月間に向け、仲間ふやしのヒントが得られた交流会になりました。担い手づくりでは手配り協力者をふやして90%になったとの報告もありました。



#### 第2交流会 サークル活動体験と交流

第2交流会は医療生協の各地区にあるサークル活動の交流が行なわれました。医療生協のサークルの良さは仲間と楽しくつながり、健康チェックもできる。とてもすばらしい。との発言もする中、8つのサークルから、サークル紹介や積み立て増資など医療生協らしい活動が報告されました。河西地区の手品サークルや那賀地区の健康と美容サークルは実演し、体操を全員で5分間行ないました。場所の問題などの悩みもだされました。また、男性が参加するサークルも増やしていかなければという意見もできました。



#### 第4交流会 支部・班活動交流会



#### 第3交流会 高齢者昼食会実践交流会

現在3ヶ所で実施している高齢者昼食会のとりくみについて発表がありました。東地区は寸劇をまじえて、その内容を紹介。河西地区・つどいホールくすみは年間の行事・食事も決め実施していることが報告されました。南地区は助け合い、仲間づくり、それを支える担い手づくり、事業所利用などについて報告されました。まだ実施していない地区の組合員さんから、それぞれ取り組みに特徴があり、参考になった。ぜひ、取り組みたいとの感想が寄せられました。

第4交流会は各地区の支部活動や自分の所属している班の活動について、特徴や苦労している点、工夫していることなど、参加者全員が発言されました。その中で、班会や医療生協の運動を継続していくためには、楽しく、参加して役に立ったと思えることが大切だとあらためて確認できました。